

第12回国際金融規制研究会議事要旨

1. 日時：令和元年12月19日（木）14時30分～16時

2. 場所：証券団体会議室（太陽生命日本橋ビル12階）

3. 議題：

（1）国際金融規制を巡る国際会議の場での議論の動向

- ① G20及びFSBでの議論の動向について
- ② バーゼル銀行監督委員会での議論の動向について
- ③ 質疑応答

（2）今後の研究会の進め方（意見交換）

4. 議事内容：

○ 議題（1）①に関連して、

金融庁総合政策局参事官（国際担当）の吉田昭彦氏より、①サウジアラビア議長下のG20全体のテーマ、②G20財務トラックの主なプライオリティ、③FSB 2020年作業計画、④ステーブルコイン、④その他の主な議題（BigTech、サイバーセキュリティ、市場の分断、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD））などについて説明がなされた。

○ 議題（1）②に関連して、

日本銀行金融機構局審議役（国際関係統括）の大谷聡氏より、2019年10月30日から31日にかけてスペイン・マドリッドで開催された、バーゼル銀行監督委員会での議論の概要について、委員会終了後公表されたプレス・リリースに基づいて説明がなされた。

○ 議題（1）③に関連して、

吉田参事官、大谷審議役の報告を受けて、暗号資産、気候関連リスク、金融制度改革の影響度評価などを含め、報告で取り上げられた幅広い論点について質疑応答が行われた。

○ 議題（2）に関連して、

中曽座長より、今後、委員から、国際金融規制の分野で関心のあるテーマについて、順次報告を受け、それを基に意見交換を行いたい旨、第12回研究会終了後、事務局より委員に対して、報告希望の有無、報告を希望する場合の報告

時期とテーマについてアンケートを行いたい旨、提案し了解された。

また、次回研究会の開催予定等については、追って事務局より連絡することとされた。

以上